



新規就農者 長崎市川原町 森保 大和さん ひろかず

森保大和さん（29歳）は勤めていた会社を退職して、森保農園の4代目として令和4年4月に就農されました。

森保農園は、川原町で長崎早生などハウスびわ（32a）を中心に経営されています。栽培技術と経営を父欣也さん きんやから学びながら、ホームページやSNSの活用、またラジオ番組への出演など、農作業のかたわら積極的に農園のPRを行っています。簡易ハウスの新設によるびわの規模拡大や、シャインマスカット、イチジクなど新たな品目の栽培にチャレンジされています。

今後の大和さんの活躍をはじめ、森保農園の発展が期待されます。



森保 大和さん

わたしたち農業がんばっています

全 域

地域計画は、令和7年3月末をもってほとんどの市町で策定が終了し、各地域の目標地図と合わせて各市町のホームページ等で公告が行われております。

地域計画は、地域の農業を将来へ継続させていくために、地域でよく話し合い、農地を利用しやすいよう、次世代へ引き継いでいくことを目的としております。策定を通じて、地域が抱える課題が見える化され、担い手がない地域や、基盤整備が必要となる地域など、実状が浮き彫りになり、10年後を見据えた地域農業の対策や必要な取組を行うことにつながります。

しかしながら、計画は一度作って終わりではなく、毎年、PDCAサイクルを通じてブラッシュアップしていくことが重要です。地域計画の実現に向け、是非、毎年協議を実施していきましょう。



地域計画について
詳細はこちらから

地域での話し合い（地域農業の将来、農地図を耕作者ごとに色分け等）

ここら辺は近くで借りたい人が見つからないから、外から担い手を探すエリアにしようか？



この農地を交換してみようか

この農地も借りたい

目標地図イメージ



やっぱりうちの地域はこの人たちを中心に農業する？

- ・認定農業者
- ・認定新規就農者
- ・基本構想水準到達者
- ・集落営農



これを計画と地図に
落とし込んだものが地域計画